

資料

中共人民公社の金融

1. はしがき

中共は、昨年を第1年度とする第2次5ヵ年計画において、従来比較的立ち遅れていた農業の発展を重視し、工業・農業の同時発展を経済政策の中心として急速な経済の拡大を企図している。

すでに一昨年秋から農村においては、農業生産合作社を主体として全面的に労働力を動員し、灌漑治水工事が推進されていたが、昨年に入つてこれが一段と活発に推進され、また在来の生産方法による各種小規模工場の建設が全国的に促進された。その結果、農業生産合作社の組織と規模ではより以上に飛躍的かつ多面的な農村の建設を進めることは不可能とみられるに至つた。このため昨年以來、労働力、資材および資金をより集中的に活用するとともに、これらを統一的に管理することをねらいとして、農業生産合作社をはじめ各種合作社を合併することが必要とされるに至つた。

人民公社は、かかる状況に対応するため、農村の経済組織である農業生産合作社、信用合作社および購販合作社などを地域的に多数合併し、同時に地方行政との一元化を図るため、これを行政単位である郷あるいは県と結合させ、一組織体として生れたものである。その規模は一郷一社のもの、あるいは県全体が一つの人民公社に組織されたものがある。

この人民公社は昨年5月初めて河南省に誕生したが、現在辺境の一部地区を除いて全国農村がほとんど全部人民公社に組織されたといわれる。しかし公社化が社会主義建設の政治的意義と、生産の画期的発展を期する経済的意義との両面をもつて推進されたにもかかわらず、ときには前者を強

調するあまり一部に混乱と摩擦を生じ、暴動の発生すらみられるに至つた。このため昨年12月、中共政府は都市の人民公社化はしばらく見合せ、まず農村における人民公社の整備、充実を図ることを決定した。しかしながら、公社化の意義は高く評価され、将来公社は共産主義社会構成の基礎単位となるものであるとして、今後ともその育成と発展を図ることに変わりはない。

人民公社の組織をみると、社員代表大会を最高管理機関とし、同大会により選出された管理委員をもつて構成される管理委員会が社務を管掌することとなっている。管理委員会のもとには農業、水利、牧畜、林業、工業、交通、財政、食糧、購販、文化教育、内務労働、武装保衛、信用、計画、科学研究などの多くの部あるいは委員会が置かれている。なお公社は地域的に多くの管理区（あるいは生産大隊）に分けられており、管理区はさらに生産隊に細分されている。

また、公社の地域的な諸計画ないし活動を国家計画に沿ひ効率化し調整するため、県により連合社を設置しているところもある。

しかして、公社が農村における行政ならびに経済活動を一元的に統轄するものであるところから、農村の金融はすべて信用部により行なわれ、したがつて信用部による金融を離れて農村の金融は存在しえないこととなつた。

以下、人民公社の金融を公社信用部の性格、機能および業務などを通じて紹介することとする。

2. 公社信用部の性格

上記のごとく、公社信用部は公社の金融を一元的に取り扱うものであるが、その主な性格は次の

通りである。

(1) 農村における唯一の総合的な金融機関であること

従来、農村における金融はもっぱら中央銀行である中国人民銀行および信用互助組、購販合作社信用部、信用合作社などの各種合作金融機関によって取り扱われてきた。すなわち、中国人民銀行は中央銀行としての業務のほか一般銀行としての業務を兼営し、省および直轄市に分行、県に支行を設けているほか、末端機構として分行から弁事処および分理所、支行から営業所を各地に設置している。同行はかかる機構を通じ農村において剰余資金の吸収を図る一方、主として合作社を通じて長短期資金を供給してきた。信用合作社は1956年央において全国の郷の97%に存在し、社員の出資金および預金を資金源として人民銀行の指導と監督のもとに農業資金の貸付を行ない、農村における金融に大きな役割を果たしてきた。また、信用互助組は通常20~50戸の農家が集まってつくり、加入者が相互に資金の融通を行なうものであり、購販合作社信用部は一部の購販合作社が業務の一部として組合員に対して預金、貸付を行なうものであるが、いずれも小規模である。

人民公社はその設立と同時にこれら各種合作金融をすべて信用部に統一した。さらにその信用部は人民銀行の営業所を兼ねることにより、農村における人民銀行の末端組織と合体され、その結果、農村の金融はすべて信用部により取り扱われることとなり、かくて信用部は農村における唯一の総合的な金融機関となった。

(2) 国家金融機構の末端組織であること

中共経済はすべて国家計画のもとに一元的に運営されており、金融も国家計画に沿って統轄されている。このため公社信用部は行政組織体でもある公社の一部門として公社の管理委員会の指導、監督に服し、また同時に、国家機関である人民銀行の営業所として同行の厳格な統制を受けることと

なっている。したがって信用部は事実上、国家金融機構の末端組織として農村の金融の窓口となっている。すなわち信用部は、年度あるいは半年度ごとに資金計画を作成し、あらかじめ資金の過不足額を定めて人民銀行の審査を経ることとなっている。また不足資金は人民銀行から融資を受け、余裕金は人民銀行に預け入れなければならないなど、その業務は国家金融と密接なつながりをもって営まれている。

(3) 行政的権能を有すること

信用部は後記の現金管理を行ない、企業の保有する現金は一定額を除いてすべて信用部を通じて人民銀行に集中される建前となっている。一方、公社の設立により農村の商業機構は公社の購販部に統一されることとなったが、これとともに商品流通に伴う資金の受払は信用部を通ずる振替決済により行なわれることとなり、信用部は振替決済の中心となった。

(4) 地方の実情に即し自主性が与えられていること

信用部の業務は人民銀行の厳格な統制に従うものであること上記のごとくであるが、一方、業務の運営上その地方の実情に沿うようある程度の自主性が与えられている。たとえば、人民銀行の承認を経た資金計画に対して、仮に預金が大幅に増加し、計画を上回って余裕金が生じた場合には、超過分を公社内の貸付に使用することができることとなっており、また承認された貸付総額の範囲内において、工業、農業、商業の間で彼此流用することができることとなっている。

3. 信用部の機能

人民公社の金融は前記のごとき性格を有する人民公社信用部により行なわれているが、公社信用部は次のごとき機能を有している。

(1) 農村における資金の一元的集中と統一的運用

信用部は農村における唯一の総合的な金融機関

であるところから、従来各種金融機関により多元的に吸収され、また運用されてきた資金がすべて信用部に一元的に集中され、かつ運転資金については人民銀行、公社財政部からの融資を含め統一的に運用されることとなった。

(2) 資金の効率的運用

信用部と公社内各単位との間の資金交流はすべて利息を伴う預金、貸付の関係によつて処理され、同時に信用部は他の単位と同様に独立採算制を採ることになっている。これらは資金の一元的集中、統一的運用とあいまって、従来のごとく財政資金が直接企業に交付され、あるいは各企業が自由に運用するのに比較し、農村における資金の効率的運用を可能にした。

(3) 行政的機能

信用部は人民銀行が国営企業などに対すると同様に公社内の各単位に対して現金管理を実施し、また厳格な資金管理を行なうことにより、それぞれ独立採算制を採っている公社内企業の経営合理化を促進し、監督することとなっている。なお、これらはすべて国家計画に基いて行なわれるものであり、行政的機能を果しているものとみることができる。

(4) 振替決済の拡大

人民公社の設立により国家と農村との物資の交流は従来に比べて一段と集中的に行なわれるが、これらはすべて人民銀行あるいは信用部を通ずる振替によつて決済される。また公社内部の各単位間の取引はもつぱら信用部によつて振替決済され、さらに分配制度が賃金制と無償配給制との併用に変つた結果、現金使用が節約され、かくて信用部は振替決済の拡大を図る機能をも営むこととなった。

4. 信用部の業務

上記のごとき性格と機能をもつ信用部の行なう業務は次の通りである。

(1) 預 金

信用部の預金には、社員個人の預金と公社内各単位が現金管理により預入を強制されるものがある。

預金金利は本年1月1日以降次のごとく定められ、従来信用合作社の預金金利に比し大幅に引き下げられた。

普通預金	月利0.18%	(信用合作社	月利0.24%)
定期預金(6ヵ月)	〃 0.3	〃	〃 0.51
〃 (1ヵ年)	〃 0.4	〃	〃 0.66

(2) 貸 付

信用部の公社内各単位に対する貸付は、一般にあらかじめ人民銀行の承認を経た運転資金(經常運転資金)について行なわれるが、国家から移管された企業と、もともと公社に所属する企業とでは資金源を異にしている。

すなわち、国家から移管された企業に対する貸付資金は全額人民銀行より信用部に預入され(注1)、他方、もともと公社に所属する企業に対する貸付資金は、信用部が資金計画を作成する際、公社の財政資金よりの融資も加えて決定される。

經常運転資金は従来、国営企業に対しては財政資金が大部分無利子(注2)で直接供給されていたが、本年1月1日以降、すべて銀行を通ずる貸付制度に改められ、人民公社に移管された国営企業についても同様の取扱がなされることとなったものである。

信用部の貸付金利は各業種ともすべて月利0.6%に定められた(従来、農業貸付については信用合作社は月利0.72%、銀行は月利0.48%で、工業および商業貸付金利は変らない)。

なお、經常運転資金以外の季節的あるいは臨時的な運転資金については人民銀行が直接貸付を行ない、信用部からの金融は行なわれないこととなっている。

設備資金については、もともと公社に所属する

企業に対しては公社の財政資金が信用部を通じて供給され、また移管された企業に対しては中央あるいは地方財政資金が中国人民建設銀行などを通じて直接供給されるが、これらは一般に無利子である。

(注1) 人民銀行の貸付資金源は預金のほか、毎年財政資金より融資が行なわれており、本年度予算においては中国人民建設銀行などに対するものも含め総額31.7億元となつている。

(注2) 1958年の国営工業の經常運転資金は70%が財政資金の直接交付、30%が銀行融資となつている。

(3) 振替決済

公社内の各単位間ならびに公社と公社外の各単位との間の決済は、一般に信用部を通ずる振替によつて行なわれる。社員個人に対しては振替決済は行なわれない。

信用部が行なう振替制度については現在具体的には明らかでないが、従来の一般的な振替制度に徴すれば、当事者の相違および資金の性質などにより異なるもの、おおむね次の各種の方法によるものと思われる。

イ. 特別勘定

購買単位があらかじめ信用部に決済代金を預け入れて特別勘定を開設し、小切手帳または支払帳の交付を受け購買のつど使用するもので、遠隔地との取引の場合使用される。

ロ. 計画決済

一定期間内に大体支払金額が同一である取引が数度にわたつて生じる場合に用いられ、購買単位はあらかじめ信用部に所定の申請を行ない計画決済勘定を開設する。決済には双方から決算書が提出される。

ハ. 振替小切手

商取引に基かない資金の授受および臨時に発生した取引の決済に使用される。

ニ. 限額小切手

国営運輸機関に対する経常的な運賃などの支払および国営企業の卸売単位に対する貨物代金の支払に使用される。

ホ. 委託取引

販売単位が委託取立証を作成し、信用部に交付して取立を委託するもの。

ヘ. 信用状

購買単位が信用部に対し販売単位に対する支払を委託するもので、一般に恒常的な取引関係のない場合に使用される。

ト. 為替

電信および郵便の両種がある。

(4) 現金管理

信用部は現金管理に関する国家の規定を実行することとなつている。現金管理は国家銀行に現金を集中し、これを統一的に配分することにより、その効率を高めるために行なわれるものであるとされている。信用部が現金管理を行なうことにより、公社に所属する各単位が所有する現金は一定額を超過する分はすべて信用部に集中されることとなる。

5. むすび

以上みたごとく、中共における人民公社の金融は農村における金融を国家金融と密接不可分の関係におきながら、一方において、農村における生産大躍進に必要な資金をそれぞれ現地の実情に即して供給せんとするものである。

人民公社は設立後なお日浅く、目下その整備、再編成が図られている段階であつて、公社の運営についても細部については各地の実情に即した方法が採られているため、地区によりそれぞれ状況を異にしているといわれる。したがつてその金融においても、信用部の具体的運営は地区により相当異なつているものとみられる。また信用部の性格ないし機能も、公社の整備、再編成に伴つて当然変貌するものであることはいうまでもない。とはいえ、少なくとも現段階において、一般的に信用部の金融方式が多くの特徴を備えていることは興味のあることである。